

一般質問

8人の議員が登壇しました

議席13番

木村 信一 議員



○学校教育について

Q 現在の中学校における部活動の実態について。

A 体育系では、一中が14部、二中は10部です。文科系では、一中が3部、二中は2部です。

(教育長)

Q 部員の減少により休部せざるを得ない部があると聞いているが将来的な町の考えは。

A 一中では、女子バスケットボール部で休部状態、サッカー部でも試合に参加する部員が確保できない状況です。

二中では、野球部員が3名で、昨年から隣の五霞中との合同チームで主に土曜日曜を利用して活動している。なお、柔道部は、休部状態となっている。

将来的な考え方は、現在、境町議会で学校適正化配置調査特別委員会を立ち上げているところであ

りますのでその結果を受け、検討したいと考えている。現在では規定に当てはまらないので、一中、二中では合同チームは組めない。

(教育長)

○観光協会について

Q 「本年度より観光協会を、まちづくり株式会社に移行する」と聞いているが現状は。

A 9月1日に「株式会社さかいまちづくり公社」を設立しました。道の駅さかいの財政管理と運営管理の健全化を図るため観光協会の事業をまちづくり公社へ移管するものである。(まちづくり推進課長)

○冠水対策について

Q 「境警察署から南側の地域については、専門家と協議をして雨水排水計画をたてる」と聞いているが現状は。

A 雨水排水計画については5月にコンサルタントと業務委託契約を締結し、都市下水道や染谷川で浸水した家屋等の現状調査を再度行ったところである。

市街地の浸水対策や慢性的な道路の冠水箇所の解消に向け、整備費用の算出を含め施設の配置計画を立案し、10月に再度、関係機関と協議を行い、年内に計画を策定

する予定である。

(参事兼防災安全課長)

議席1番

山田 正樹 議員



○境町親子ふれあい館について

Q 利用状況等現況は。

A 平成24年4月に開館して以来、延べ48,770人のお子さんと保護者の皆様の利用がある。

(子ども未来課長)

Q 今回の質問にあたり、実際に現場の視察や利用者の声を聴いて、改善点、要望が多数あり、参考のため古河市の駅前ヤンチャ森も視察してきたが、こちらでは殆どクリア出来ているので今後の課題として検討頂きたい。

A 抜本的な改善が必要で今後検討して行く。(町長)

○国際交流について

Q 当町における取組は。

A 本年4月に人権・協働ハーモ